

こんにちは

うみ議会です



リーダー研修会の成功に向けて活発に議論を交わしています。



宇美町子ども会育成会連絡協議会 ジュニア・リーダーズクラブ



歩みだそう!
次の100年



うみくん

みらいちゃん

16ページに関連記事を掲載

新型コロナウイルス感染症対策を行い撮影しています。

Koe Meter

声メーター
実施中!

435

議会広報が聞いたみなさんの声
2018.4から

G&D

- 12月定例会・臨時会 …………… ②
- 一般質問 町政を問う 5人が登壇 ⑥
- 委員会活動報告 …………… ⑫
- 町長・町議選挙のお知らせ …… ⑮



うみ議会だより
ホームページ
こちらにアクセス!

2022.2.15

No. 84

うみ議会だより
12月定例会

12月定例会

消防団員の士気向上・団員確保のために報酬を増額(令和4年度から)

12月定例会は、6日から10日までの5日間の会期で開かれました。

町長から提出された案件は財産の無償譲渡案1件、工事請負契約変更案1件、条例案3件、予算案3件で、すべてを原案のとおり可決しました。一般質問では5議員が8項目について質問し、また、委員会発議1件を可決、請願1件を採択しました。

財産の無償譲渡

町立柳原保育園を令和4年度から民営化することに伴い、社会福祉法人金丸福祉会に対し、同保育園の建物・備品一式を無償譲渡し、民営化後の安定的な保育事業の提供ができるようにする。
(全員賛成で可決)

工事請負契約変更

令和3年度校原小学校体育館外壁等改修工事
屋根・外壁・建具・渡り廊下等の改修工事の増工等により請負契約額を1億1858万円から1億3237万9500円に変更。

問 一度改修を行った学校施設の今後の改修方針は。

答 建物調査の結果を基に計画を立て、現在改修を進めている。改修が終わった施設の今後の改修計画は立てていないため、劣化を視野に入れ、計画の中に反映していく。
(全員賛成で可決)

条例

宇美町消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例
消防団員の士気向上および団員確保を目的として、年額報酬、災害時の出勤報酬を令

和4年4月1日から引き上げる改正。

問 報酬の引き上げをどのように団員の増加につなげるのか。

答 現団員への周知および広報誌「団員募集コーナー」への掲載などを行う。

問 報酬等の支払いが個人支給に変わることは、良いことと思うが、各分団の活動費に充てざるを得なかったという実態もあった。分団活動費についての今後の方針は。

答 現在、消防団分団維持補助金を年間9万円支給しているが、これに加え、

単位：円

| 年額報酬 | | | |
|------|---------|---|---------|
| 団長 | 196,000 | → | 204,500 |
| 副団長 | 134,000 | | 142,500 |
| 分団長 | 88,000 | | 96,500 |
| 副分団長 | 43,000 | | 51,500 |
| 班長 | 36,000 | | 44,500 |
| 運転手 | 29,000 | | 37,500 |
| 団員 | 28,000 | | 36,500 |

| | 費用弁償 | → | 出勤報酬 |
|------------|-------|---|-------|
| 災害(水災、地震等) | 3,000 | | 8,000 |

補正予算

※万円未満四捨五入
令和3年度上水道事業会計補正予算(第3号)
収益的支出を1296万円増額し7億6508万円とし、資本的収入を1010万円増額補正し6137万円とする。
主な補正は、民間の宅地開発に伴う水道用地売却による収入および売却損。



消防団出初式

団員の人数に比例して各分団へ補助を行う予算措置を考えている。
(全員賛成で可決)

宇美町立保育園条例の一部を改正する条例
町立柳原保育園の民営化に伴う同保育園の廃止。
(全員賛成で可決)

問 売却できる資産があれば、今後も売却を行い、水道料金の値下げにつなげていく必要があると思うが、積極的な資産売却の予定は。

答 現在、直ちに処分できるような資産はないが、今後、施設の廃止などで使用しない土地が出てきたときは、健全財政を維持するため、その時点で検討する。
(全員賛成で可決)

問 令和3年度流域関連公共下水道事業会計補正予算(第1号)収益的支出を9億15万円増額補正し9億345万円とし、資本的支出を4万円増額補正し8億3654万円とする。
主な補正は、多々良川流域下水道事業への汚水処理管理費負担金の前年度実績精算分831万円の増額。
(全員賛成で可決)

問 令和3年度一般会計補正予算(第0号)
歳入歳出それぞれ12億8526万円を追加し、予算総額を144億3949万円とする。
主な補正は次のとおり。

- ◇障害児施設給付費 2377万円増額

放課後等デイサービスの利用者増による増額補正。

問 利用できる施設はどこに何か所あるのか。また、利用者の推移は。

答 町内4事業所、町外43事業所ある。利用人数は10月時点で前年度比15%増。

問 子育て世帯臨時特別給付金給付事業 3億5454万円増額
新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、0歳から高校3年生までの児童を養育する世帯に対し臨時特別給付金を支給する事業。先行分の5万円の増額補正。

問 追加分の5万円をクーポンではなく現金で給付する考えは。

答 正式決定ではないが、条件によっては現金での給付が可能という国からの説明があった。町としても現金給付を前提としたい。

問 新型コロナウイルスワクチン接種事業 1344万円増額
1〜2回目接種の不用見込額および3回目接種の必要経費を精査し計上。

問 3回目のワクチン接種は、モデルナ製とファイザー製が半々届くと聞いているが、混乱や滞りなく接種できるのか。

答 まだ判断材料が少ないので、国の方針が決定した後、町内の医師の意見を伺い町の方針を決定したい。

問 11歳以下の子どもワクチン接種について、働いている保護者が多いと思うが、日曜日や夜間の接種の検討は。

答 子どもの接種は、町内の医師の意見を伺い個別接種を中心に検討している。休日・夜間の接種については、個別接種の受け入れの意向を調査中で、詳細はこれから打ち合わせる。

問 3回目の施設への巡回接種を実施しない方針としたが、施設側は納得しているのか。

答 通知を送り、それぞれの施設で接種してほしいとお願した。施設の嘱託医で対応できない施設については、今後調整する。

問 子どもの接種は、町内の医師の意見を伺い個別接種を中心に検討している。休日・夜間の接種については、個別接種の受け入れの意向を調査中で、詳細はこれから打ち合わせる。

問 3回目の施設への巡回接種を実施しない方針としたが、施設側は納得しているのか。

答 通知を送り、それぞれの施設で接種してほしいとお願した。施設の嘱託医で対応できない施設については、今後調整する。

問 3回目の施設への巡回接種を実施しない方針としたが、施設側は納得しているのか。

答 通知を送り、それぞれの施設で接種してほしいとお願した。施設の嘱託医で対応できない施設については、今後調整する。

問 3回目の施設への巡回接種を実施しない方針としたが、施設側は納得しているのか。

答 通知を送り、それぞれの施設で接種してほしいとお願した。施設の嘱託医で対応できない施設については、今後調整する。

道路改良工事請負費 6000万円増額
町道有内〜苔牟田線地すべり対策工事。

中央公民館等改修工事請負費 1億7070万円増額
宇美町立中央公民館および住民福祉センター外壁・防水改修工事。

災害復旧工事請負費 3302万円増額
町道竹ヶ下〜桜ヶ丘線災害復旧応急附带工事。

災害復旧工事請負費 4億5200万円増額
町道竹ヶ下〜桜ヶ丘線災害復旧工事(補助・町単独)
(全員賛成で可決)

委員会発議

宇美町議会委員会条例の一部を改正する条例
提出者 議会運営委員会
委員長 南里 正秀
次の一般選挙から議員の定数が削減されることに伴い、総務建設常任委員会・厚生文教常任委員会の定数を7人から6人に改める。
(全員賛成で可決)

請願
宇美町商工会への町補助金の増額を求める請願
請願者 宇美町商工会
会長 合屋 昭輝

紹介議員 飛賀 貴夫議員
白水 英至議員
黒川 悟 議員
吉原 秀信議員
藤木 泰 議員

問 令和3年の2月にも同様の請願が提出されたが、商工会と町の間で意見交換が行われたのか。

答 協議が行われた結果、本年度実施されたプレミアム付き商品券の経費負担について、規定どおりなら商工会の負担約300万円のところを負担なしで実施された。
(全員賛成で可決)

キャッシュレス決済推進事業第2弾!
PayPayアプリのダウンロードはこちら!
宇美町で「食」を満喫!
最大 20% 戻ってくるキャンペーン!
キャンペーン期間 令和4年1月5日(水)~2月28日(月)
キャッシュレス決済推進事業第2弾

12月・1月臨時会

子育て世帯臨時特別給付金は現金一括給付へ ひばりが丘のり面災害復旧工事契約

12月臨時会

補正予算

※万円未満四捨五入

令和3年度一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ8億3408万円を追加し、予算総額を152億7357万円とする。主な補正は次のとおり。

◇住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費

4億8362万円増額

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、速やかに生活・暮らしの支援が受けられるよう、住民税非課税世帯等に10万円を給付する。給付見込世帯数4758世帯。

問 給付のスケジュールは。

答 国から予算確保の指示はあつたが、給付開始の指示はあつていない。補正予算議決後は、封筒印刷など可能な範囲で準備をし、国からの正式な指示が届き次第、速やかに給付できるように進める。

問 繰越明許費を設定しているが、金額の根拠は。

答 非課税世帯の3割および家計急変世帯の全てが、4月以降の給付になると見込んでいる。

◇子育て世帯臨時特別給付金給付事業

3億5046万円増額

先行5万円分を12月定例会で補正したが、国が先行分の5万円と追加分の5万円をあわせて現金一括での給付を可能とする旨の方針を示したため、町は現金一括で給付する方針とし、追加分5万円を増額。

問 いつ生まれた子どもも対象か。

答 令和4年3月31日生まれまで対象。

問 19歳以上の大学などに通う生活に困っている学生に支援はできないのか。

答 国から学校を通じて10万円が給付される予定。町独自の支援は、国の支援後の状況を見て検討したい。
(全員賛成で可決)

1月臨時会

工事請負契約締結

令和3年8月に被災したひばりが丘団地のり面崩壊の災害復旧工事の契約の締結。

令和3年度町道竹ヶ下く桜ヶ丘線災害復旧工事

○工事箇所

宇美町ひばりが丘二丁目地内

○請負契約額

2億2750万3100円

○工事請負人

飯田建設株式会社

○落札率

86.39%

○工期

契約の効力の発生の日から令和5年3月30日

(全員賛成で可決)



町道竹ヶ下～桜ヶ丘線の復旧の様子

補正予算

※万円未満四捨五入

令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ2億2830万円を追加し、予算総額を41億2563万円とする。

主な補正は、一般被保険者療養給付費の増額。

(全員賛成で可決)

令和3年度一般会計補正予算(第10号)

歳入歳出それぞれ1541万円を追加し、予算総額を152億8897万円とする。

主な補正は、新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増額。

問 今後、国から配分されるモデルナ製ワクチンの使用への不安はないのか。

答 1～2回目の接種は、ファイザー製のワクチンのため、モデルナ製ワクチンへの不安がある方もいると思うが、安全性や効果を町のフェイスブック、ホームページ、うみ広報等で周知する。
(全員賛成で可決)

全会一致で可決・採択した議案

令和3年12月定例会 表決一覧

| 議案名 |
|--|
| 財産の無償譲渡・・・令和4年度から民営化する町立柳原保育園園舎等の譲渡 |
| 工事請負契約締結についての議決内容の一部変更・・・桜原小学校体育館外壁等改修工事の施工数量の変更等による請負契約額の変更 |
| 宇美町国民健康保険条例の一部改正・・・出産育児一時金の支給額を改定 |
| 宇美町消防団員の定数、任免、給与、服務等に・・・消防団員処遇改善のため報酬額等を改定 関する条例の一部改正 |
| 宇美町立保育園条例の一部改正・・・町立柳原保育園の民営化に伴い、同保育園を廃止する規定の整備 |
| 令和3年度 宇美町上水道事業会計・・・収益的支出1295万7000円追加し、計7億6508万1000円 補正予算(第3号) 資本的収入1009万5000円追加し、計6136万7000円 |
| 令和3年度 宇美町流域関連公共下水道事業・・・収益的支出914万5000円追加し、計9億344万5000円 会計補正予算(第1号) 資本的支出4万2000円追加し、計8億3653万8000円 |
| 令和3年度 宇美町一般会計補正予算(第8号)・・・歳入歳出12億8525万5000円追加し、 予算総額144億3949万2000円 |
| (発議) 宇美町議会委員会条例の一部改正・・・常任委員会の委員定数を改定 |
| (請願) 宇美町商工会への町補助金の増額を求める請願 |

全会一致で可決した議案

令和3年12月臨時会 表決一覧

| 議案名 |
|---|
| 令和3年度 宇美町一般会計補正予算(第9号)・・・歳入歳出8億3407万5000円追加し、 予算総額152億7356万7000円 |

全会一致で可決した議案

令和4年1月臨時会 表決一覧

| 議案名 |
|--|
| 工事請負契約締結・・・令和3年度町道竹ヶ下～桜ヶ丘線災害復旧工事契約の締結 |
| 令和3年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)・・・歳入歳出2億2829万5000円追加し、 予算総額41億2562万6000円 |
| 令和3年度 宇美町一般会計補正予算(第10号)・・・歳入歳出1540万5000円追加し、 予算総額152億8897万2000円 |

一般質問 町政を問う5人が登壇！

白水 英至 議員 ——— 7P

- ◆行政サービスが低下しても健全財政と言えるのか

黒川 悟 議員 ——— 8P

- ◆マイナンバーカードの普及に向けた取組を
- ◆死亡者の手続きにワンストップ窓口の設置を

入江 政行 議員 ——— 9P

- ◆建設残土による盛土が引き起こす災害対策は
- ◆貴船ガーデンヒル地区水道工事費に関する請願書取扱協議の在り方を執行権者に問う

丸山 康夫 議員 ——— 10P

- ◆学校現場への支援強化を「不登校問題の改善に向けてどう取り組むのか」
- ◆日本遺産を生かしたまちづくりを「四王寺ブランドの経筒の展示を」「宇美八幡宮を日本遺産に」

南里 正秀 議員 ——— 11P

- ◆次のリーダーに託したいこと

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いただすことです。

河原谷の大つらら（通称難所ヶ滝）

厳冬期には岩清水が凍り付き、高さ20メートルもの見事なつららになることがあります。

場所は、一本松公園（昭和の森）から徒歩約90分ほど登った河原谷です。

観賞に行かれる際は雪山登山の装備が必要です。

行政サービスが低下しても 健全財政と言えるのか



白水 英至 議員

答 財政運営の健全化を維持しながら行政サービスの向上に努める

問 町の基金残高が平成28年度から令和2年度までの5年間で約9億2351万円増え、約22億6691万円となった。身を削る改革が結果を残したと評価している。その一方で、行政サービスは低下しなかったのか。

また、各課の予算配分が少なければ、住民サービスにも影響が出ると思われるが、住民からの苦情や職員からの意見はなかったのか。

答 財政課長 平成29年度から令和2年度までを計画期間とする町財政改革推進プランを作成し、財政改革を全庁的に取り組んできた。

改革方針は、令和2年度までに財政調整基金の取り崩しに依存しない財政運営を実現し、基金残高を災害などの備えとして、標準財政規模の20%程度を確保する。

また、令和2年度まで臨時財政対策債を除く

通常債の残高を平成28年度末から減少させることを掲げ、事務事業の見直し、収入の確保、繰出金および人件費の抑制を進めてきた。

一方、扶助費等の義務的経費や一定水準の行政サービス、緊急性を要する予算なども優先して配分してきた。

問 この5年間で自治会および団体からの要望の件数と予算額は、都市整備課長

答 道路関係・街路樹撤去等280件で予算額は把握していないが、要望未処理分は1億7500万円。公園関係109件で要望未処理分1億4500万円。

その他、環境農林課215件で要望未処理分3470万円。社会教育課216件で予算額は把握していない。

問 この5年間で住民の要望にどれだけ応えられたのか。

答 都市整備課長 道路関係・街路樹撤去等280件のうち処理済200件。処理内容は草刈り、木の伐採、側溝の補修など軽微なもの。

その他、環境農林課は215件のうち処理済99件。社会教育課は216件のうち処理済53%であった。

問 行政サービスが低下しても健全財政と言えるのか。

答 財政課長 町の財政状況は、健全化判断比率からは健全である。しかし、平成28年度当時は、多額の基金を取り崩しての予算編成となり、このままの状況で推移すれば一定水準の行政サービスが維持できない可能性があった。

このため、財政改革推進プランのもと、事務事業を見直し、行政サービスの事業についても廃止・縮小など行った。このように、今後も財

政運営の健全化を維持しながら、事業効果や費用対効果、重要度や緊急性を総合的に判断し、事業の重点化、選別化を図り、行政サービスの向上に努めていく必要があると考えている。

問 基金残高が増えたことは評価するが、今後の方針と総合的な見解を。

答 町長 厳しい財政状況の中、公共施設再配置計画に示す既存施設の適正化やさらなる有効活用を図っていく方針で取り組んできた。

今後は、来春より新しい執行部のもと、新たなまちづくりに向けた取組を組織一丸となって進められることを願っている。



黒川 悟 議員

マイナンバーカードの普及に向けた取組を

答 利便性、安全性を周知し、普及に努める

問 マイナンバーカードの普及状況は。

答 住民課長 平成30年3月末時点で8・16%であったものが、特別定額給付金のオンライン手続きやマイナンバーの付与等の誘因もあり、令和3年11月30日現在、36・7%と大幅に増加している。

問 新規取得者に対し、マイポイントが最大2万円相当付与されることで、普及率アップが期待できる。

答 普及したマイナンバーカードを利用することで、役所手続きが円滑になれば利便性も高まるが、今後の動向は。

答 住民課長 この計画の発表直後、窓口において5〜10%ほど交付率が上がった。交付率が上がると、オンラインによる行政手続きや健康保険証としての利用基盤が整うと考える。

コロナワクチン接種証明書の電子版取得や給

付金等の迅速な受け取りが可能となるなど、各種手続きの効率化やコスト削減にもつながると期待している。

問 マイナンバーカードの普及につながる周知方法は。

答 住民課長 町の広報やホームページで周知。また、窓口来庁者に普及啓発チラシの配布や申請手続きの勧奨等を行っている。

今後、庁舎内放送も取り組んでみたいと考えている。

問 普及率が高い自治体は、独自の商品券やポイントの付与等の取組を行っているが、当町の考えは。

答 住民課長 普及促進を図る上で効果的な手段と考えられるため、コロナ対応の交付金を活用した事業の実施を検討したが、財源確保や商品券発行・換金等に係る事務負担が増え

などの課題があり、見送ることにした。

問 昼間、申請に行かない方のための窓口や高齢者、障がい者および情報弱者の方への対応は。

答 住民課長 今後、交付申請受付用タブレット端末を導入し、自治会・企業等に出向き、申請書を書くなどの難しいところも役場職員が代行する出張申請受付サービスを考えている。

高齢者、障がい者など、デジタル手続きが難しい方に対しては、来庁時に窓口で、オンライン申請のお手伝いとして、写真撮影から申請情報の入力、データ送信まで全部完結できるサービスを提供している。

問 デジタル化促進とマイナンバーカードの普及に向けての今後の見直しおよび見解を。

答 住民課長 デジタル化が進むと、行政手続きがワンストップで完結

できる環境が整備され、手続きの簡素化や効率化につながる。

今後も利便性や安全性を周知し、マイナンバーカードの普及に努めたい。

.....
死亡者の手続きにワンストップ窓口の設置を

問 死亡者の手続きにワンストップ窓口「おくやみコーナー」を開設しては。

答 住民課長 令和2年1月に窓口を改修して環境を整えており、物理的制約があるため、専用コーナーを開設することは難しいと考える。

窓口事務の改善の取り組みとして、住民課、健康福祉課、税務課、財政課で協議しており、その中でさらに便利で効率的な窓口サービスの向上を検討したい。

建設残土による盛土が 引き起こす災害対策は



入江 政行 議員

答 盛土がなされている箇所には
現在危険性はない

問 今年の7月3日に発生した熱海市の土石流被害事故は、死者26名、行方不明者1名の惨事となった。

これは、違法盛土が大雨で崩落し、土石流となり一気に流出したことが原因であり、市に届け出ていた盛土が不適切な状態と言われている。

当町において建設残土による盛土は何箇所存在するのか。

また、危険箇所があるのか。

答 都市整備課長

一般的に残土というのは、正式には建設発生土と言い、建設工事や土木工事などで建設副産物として発生する土を言う。

当町において建設発生土の受け入れは井野の採石場1か所で、福岡県の許可を得ている。

問 井野の採石場に関して詳細な説明を。

答 環境農林課長

井野山の採石場については採石法、森林法に基づき採石し削った箇所は、原形に復旧するよう法律で定められている。それを盛土により元に戻す復旧工事を行っている。採石場の埋め立てについては、県が委託している業者により年間32回状況確認をしている。

このため、採石場の現在の盛土の部分について危険性はないと聞いています。

問 残土処理のため盛土が行われ、人災とも言われる災害が起きている。これについて、早急な法規制が必要と考えるが。

答 都市整備課長

盛土に対して、適切な指導および規制は必要であると考えている。

全国知事会では、今回の熱海市における災害を受け、国に対して法整備の要望がなされたと聞いている。

町は、県や関係機関

と情報の共有を図りながら、連携して指導等を行って対応していきたい。

.....
**貴船ガーデンヒル地区
水道工事費に関する請願書取扱協議の在り方を執行権者に問う**

問 貴船ガーデンヒル地区から水道工事費に関する請願書が提出・受理された。その後、正副議長、議員、副町長、担当課長、請願者、紹介議員等の出席のもとで話し合いが行われ、結果として請願書の取下申出書が提出されて議会への上程を断念。

執行部はなぜ、この会議に参加したのか、意図とするものは何か副町長の考えを。

答 副町長

意図するものは特にない。貴船地区の上水道事業給水に関する協議は長年行ってきた。執行部として同席し

たのは、請願書の内容について、双方に認識の違いがないか、互いの考えを確認し、共有する機会を得られればと思いい出席した。

問 請願書は、議会に上程し、議論を尽くし、賛否を問うべきである。請願取下申出書が提出された会議に副町長が参加したことについて、行政のトップである執行権者としての町長の考えを。

答 町長 貴船自治会の方々の総意に基づき提出された請願は、真摯に受け止め協議していかなければならないと思う。副町長が話し合いに参加したことについては、理解認識の齟齬（そご）がないよう確認するために副町長の参加を許可した。



丸山 康夫 議員

学校現場への支援強化を

「不登校問題の改善に向けて どう取り組むのか」

答 専門スタッフと連携できる 環境をつくる

問 学校教育推進協議会で、不登校問題の改善を大きな課題としていたが、不登校の定義および実態は。

答 学校教育課長
不登校の定義は、「年間30日以上欠席した者で、病気などの理由を除いたもの」とされている。

直近3年間の推移は10月時点の報告で、小学校は令和元年27人、令和2年31人、令和3年32人。中学校は令和元年52人、令和2年47人、令和3年64人。3年前との比較では増加している。

問 働く婦人の家に設置されている「くすのき教室」の活動実態は。

答 学校教育課長

教員免許を有する専任指導員1人と協力指導員3人で運営されており、通常は2人または3人態勢となっている。教室は水曜日を除いた週4日の8時30分から17時まで運営されて

おり、現在は小学生1人、中学生11人が通っている。

問 うみハピネス（子ども教育総合支援センター）の改修も視野に入れ、支援教室の設置を検討する必要があるのでは。

答 学校教育課長

改修に関する具体的な意見交換は行っていないが、機能を集約する観点で言えば、くすのき教室の移転という案もあると考える。

問 町ではICT教育環境もかなり充実したが、不登校対策への活用状況は。

答 学校教育課長

不登校の子どもたちにタブレット端末を渡し、教室の授業をリアルタイムで視聴できるようにしている。

教室の子どもたちが考えている時間などを使い画面越しに話しかけながら授業を展開し

ている。

現在は、小学校では4人、中学校では9人が活用している。

問 不登校対策を学校現場や担任まかせにしないことが重要だと思っている。

答 教育現場への支援強化を含め、町教育委員会としてどのような対策を行っていくのか、また数値目標は設定しているのか。

答 教育長 学力向上と不登校問題は、町の重点課題として取り組んでいる。

1点目は、新規の不登校の児童生徒を増やさないために、未然防止となる教育環境づくりに力を入れる。

2点目は、元養護教員等の資格を持った指導主事を各学校に派遣し、個々に応じた支援を行う。

3点目は、不登校児童生徒が自分らしくいられる場所として、くす

のき教室や保健室等と連携した環境整備を進めていく。

更に人的支援の強化も必要であり、学校カウンセラー等の専門資格を持ったスタッフと連携できる環境づくりが大切であると考えている。

数値目標の設定は大変難しいところであるが、令和2年度の町の不登校の割合は、小学校1・80%、中学校7・01%に対し、全国平均は小学校1・00%、中学校4・09%となっており、まずは全国平均に近づくことを目標としたい。

日本遺産を生かしたまちづくりを

「四王寺ブランドの経筒の展示を」

「宇美八幡宮を日本遺産に」



南里 正秀 議員

次のリーダーに託したいこと

答 自身の判断を信じて陣頭指揮を

問 木原町長は令和3年9月に退陣表明をされた。

木原町政の8年間を総括し、8項目について所感を伺う。

① 消防団の団員減少問題

答 町長 社会が大きく変化する中で、消防団の使命や活動の性格上、地域や行政との一層の連携協力は不可欠。全国的に団員の士気向上や人材確保など憂慮すべき問題が顕在化する中、今議会で団員の処遇改善がなされたことは喜ばしい。

今回の改正を契機に、消防団の組織体制が充実し、安全安心のまちづくりに拍車がかかることを切望する。

② 自治会の統合・再編問題

答 町長 当町が避けて通れない非常に重要な問題と認識しており、行政が主導していかなければならない。

町や地域の将来を見据えた改善、改革は必要不可欠。

井野区の実績を礎として自治会の統合・再編が進むことを願っている。

③ 道路整備の促進

答 町長 当町の現在の道路環境は十分に整っているとは言い難いのが現状。

慢性的な渋滞の緩和に向け、まずは県道68号線を補完するバイパス機能を有する志免宇美線の早期完成を目指すことが肝要と考えている。

④ 宮崎県都農町との友好関係

答 町長 これまで培ってきた絆を核とした友好関係を続け、行政、子どもたち、学校、議会、商工会、消防団など幅広い分野で交流が深まることを期待している。

⑤ 町人会の開催、

答 町長 関東地区に宇美町町人会が発足した。

宇美の地を縁として、さまざまな関係が深まっていくことは、宇美町応援団として見えなかつた顔が顕在化していき、大変意義あることと思っている。

⑥ 一本松公園の全体整備計画の策定

答 町長 長年の課題であったトイレの水洗化や駐車場料金の徴収、河原のしずくの販売など一歩踏み出した。公園全体の利活用を今後どのように図っていくのか整備方針を定めて全体整備計画を策定する必要があると思っている。

⑦ 大野城跡の活用

答 町長 日本遺産の認定を受け、町独自でも写真展示会や講演会の開催、ガイド本の作成・配布、ウォークラリー等を開催し、町内外への

周知と活用を図ってきた。

関係自治体と連携を図るとともに、イニシアチブを発揮したい。

⑧ 歴史民俗資料館の改修

答 町長 町の大切な文化財が九州歴史資料館に保管されており、早く里帰りさせて、子どもたちをはじめ町民の皆様に見ていただきたいの思いは強い。

ハードルは高く、非常に重たい課題であり、新しい執行部と議会で議論されるべきと考える。

問 次のリーダーに託したいことは

答 町長 次のリーダーには、議員、職員、町民の方々の声に耳を傾ける中で、自分自身の判断を信じて、これからの宇美町の発展に陣頭指揮を取りながらご尽力いただきたい。

Topics 4年間の活動を振り返って

今期、当委員会において協議してきた実績項目の主なものは次のとおりです。

- ①防犯カメラシステム支援自動販売機導入
- ②一本松公園(昭和の森)岩盤地下水「河原のしずく」販売所設置
- ③防災備蓄倉庫整備(避難所開設のための備品等を収納)
- ④一本松公園(昭和の森)駐車場ゲート料金所設置
- ⑤一本松公園(昭和の森)の一本松側と猫石側の水洗トイレ完成
- ⑥危機管理課新設

など、当委員会の中で所管課と多くの課題について協議し、実施されました。

町の財政、建設、道路、消防、防災、上下水などの充実と住みよい宇美町を目指して、全力で取り組みました。



平野 龍彦 委員

南里 正秀 委員

藤木 泰 委員

入江 政行 委員

白水 英至 委員

小林 征男 委員長

安川 繁典 副委員長

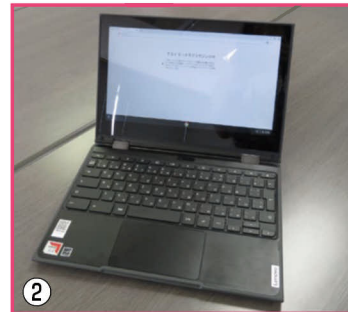
Topics 4年間の活動を振り返って

今期、当委員会において協議してきた実績項目の主なものは次のとおりです。

- ①小中学校のエアコン設置・トイレの洋式化・手洗器の自動水洗化
- ②GIGAスクール構想でICTを活用するため児童生徒に一人1台タブレット端末配布
- ③宇美中学校・桜原小学校体育館外壁・内装等改修工事
- ④町立図書館に電子書籍の導入
- ⑤町立貴船保育園・町立柳原保育園の民営化
- ⑥新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用

など、当委員会の中で所管課と多くの課題について協議し、実施されました。

町の教育、環境、子育て支援、社会福祉などの充実と住みよい宇美町を目指して、全力で取り組みました。



丸山 康夫 委員 南里 正秀 委員 吉原 秀信 委員 脇田 義政 委員
飛賀 貴夫 委員長 黒川 悟 副委員長

12月定例会

臨時会・表決一覧

一般質問

委員会活動報告

町長・町議選挙のお知らせ

Topics

県主催の議会広報研修会で個別に講評を受けました



令和3年11月18日に福岡県自治会館で開催された福岡県町村議会議長会主催の「町村議会広報研修会」に参加しました。

各自治体の議会広報が個別に講評され、本町の議会広報「こんにちは“うみ議会です”77号」の講評では、お褒めの言葉もいただきましたが、まだまだ改善点も多く、今後の編集に生かしていきたいと思えます。

これからも、より良い議会広報を目指して取り組んでまいります。

Topics

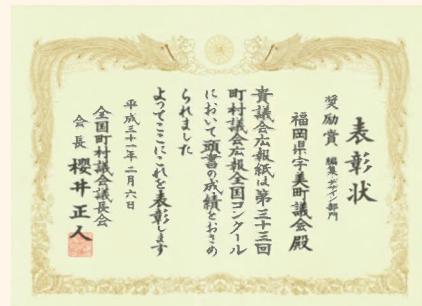
4年間の活動を振り返って

私たち議会広報常任委員会では、町民の皆様の議会や町政に対する関心が薄れてきていることに危機感を持ち、「まずは手に取って読んでいただける議会広報」を目指して活動してまいりました。

平成30年度の先進地視察では、全国広報コンクールで4年連続最優秀賞を受賞されていた埼玉県寄居町へ行き、紙面づくりなどについて意見交換を行い、その後の紙面づくりの参考とさせていただきました。

また、今期の委員会で最初に作成した、「こんにちは“うみ議会です”69号」が町村議会広報全国コンクールで奨励賞（編集・デザイン部門）を受賞することができました。大変励みになると同時に、コロナ禍前には全国各地から視察に来ていただくきっかけにもなりました。

この84号が今期最後の発行となりましたが、町民の皆様には、今後ともご愛読いただきますようお願いいたします。



飛賀 貴夫 委員 南里 正秀 委員 安川 繁典 委員 入江 政行 委員
丸山 康夫 委員長 平野 龍彦 副委員長

今期は、2020年に町制施行100周年を迎え、次の100年へつなぐべく大いなる使命とともに、災害ともいうべきコロナ禍で、大きく時代が動く節目となりました。

12月定例議会を終え、町議会議員13名(1名欠員)ワンチームで、宇美町の発展のために議会活動を通じて、より良い宇美町の実現に向かって邁進してまいりました。

改選後も取り組むべき課題は山積していますが、議会の活性化を図り、町民の皆様の付託に応えるべく、これからも一層精進してまいりますので、今後とも町議会にご支援をいただきますようお願い申し上げます。



古賀ひろ子議長

町の選挙管理委員会よりお知らせ

2月20日は町長・町議選挙です!

みんなで徹底しよう「三ない運動」



令和4年2月15日告示・同20日投開票の日程で宇美町長および宇美町議会議員選挙が行われます。

町民の代表者を決める大切な選挙です。

あなたの貴重な一票を投じましょう。

※宇美町議会議員の定数は12人に変わります。

平成30年 投票率

| | |
|------|---------|
| 有権者数 | 30,107名 |
| 投票者数 | 13,051名 |
| 投票率 | 43.35% |

令和3年12月1日現在
選挙人名簿登録者数 / 30,498名

| | | | |
|--|---|---|--|
|  お歳暮やお年賀 |  入学祝・卒業祝 |  病気見舞い |  秘書等が代理で出席する場合の結婚祝 |
|  秘書等が代理で出席する場合の香典 |  葬式の花輪・供花 |  落成式・開店祝の花輪 |  お祭りへの寄附や差入 |
|  自治会の集いや催物への寸志や飲食物差入 |  地域の運動会などへの飲食物差入 | 政治家の寄附は禁止。 有権者が求めることも禁止。 | |

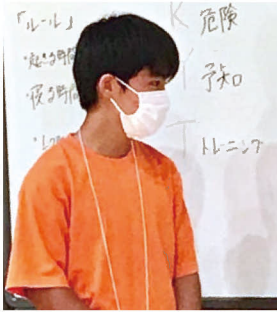
議会広報

インタビューシリーズ 第4弾

表紙にも掲載しています

子どもたちの笑顔とそれを支える方々に
スポットを当てていきます

KYTを取り入れた研修



KYTとはKIKEN(危険)、YOCHI(予知)、TRAINING(トレーニング)の略で、日常生活や活動中に潜んでいる危険を事前に予知し、事故を防ぐトレーニングです。

安全な活動を行うため研修に取り入れています。

大坪新君はスポーツ少年団のリーダー会でも活動しており、学習したことを双方のリーダー会や日常の活動に生かしています。

感染症対策も入念に

コロナ禍で子ども会活動も自粛が続いていましたが、ようやく再開できました。

リーダー研修会の受付でも、子育て連役員推進部の方々を中心に、感染対策にしっかり取り組んでいます。



只今リーダー大募集中です!

- ◆対象 中学1年生以上の子ども会員
- ◆定例会 月1回程度不定期で開催
- ◆場所 宇美町立中央公民館他
- ◆お問い合わせ・連絡先
団体事務局 ☎092-933-2784
宇美町役場ホームページをご参照ください



～次世代を担うリーダーを育成～ 宇美町子ども会育成会連絡協議会

宇美町子ども会育成会連絡協議会は三大大行事(ソフトミニバレーボール大会・相撲大会・カルタ大会)の開催以外に、リーダーの育成に取り組んでいます。

ジュニア・リーダースクラブのメンバーは、中学生を中心に25人が入会しており、月1回の定例会や年3回のリーダー研修会の開催、三大大行事の司会進行等を行っています。

ジュニア・リーダーとして、小学生の会員の前でレクリエーションの指導等が上手にできるよう、また指導者とのパイプ役として各自治会の子ども会を引っ張っていける人材の育成に取り組んでいます。

ニュースポーツのキンボールを体験

小学6年生を対象にしたリーダー研修会では、ニュースポーツのキンボールを体験しました。

この研修は、次のジュニア・リーダーの発掘と、各自治会の子ども会のリーダーを育てるために開催し、参加者に楽しんでもらえるよう、定例会で企画立案等の準備に取り組んできました。



ジュニア・リーダースクラブを支える人々

HEART EDUCATION(ハートエデュケーション)代表の龍孝志さんはリーダー育成のために、定例会やリーダー研修会の講師として、レクリエーション指導を中心に活動されています。

リーダー育成に「Why(なぜ)」レクリエーション活動が大切なのか問いかけておられます。



議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか!

宇美町議会では新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。

12月議会では、13名の方が傍聴に来られました。

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)に定例会が開かれます。
役場3階の傍聴席入り口で住所・氏名を記入しご入場ください。

改選後の初議会は3月8日に開会予定です。

詳しくはこちらまで
お問い合わせ下さい

宇美町議会事務局
☎092-934-2248

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会事務局の
メールアドレスです

gikai@town.umi.lg.jp

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫

副委員長 平野 龍彦

委員 入江 政行

安川 繁典

南里 正秀

飛賀 貴夫

Gikaiboutyou Meter

議会傍聴メーター

2018年3月議会から
議会傍聴に来られた
人数です。

362